



学校の教育目標

主体性

●自ら求める ●鍛えやり抜く ●思いやる

<伝統:あいさつ・合唱・清掃>と<学習・ボランティア>の5つの柱をつなぐ指導

自ら求める

<研究主題>
仲間と学びを創り、学ぶ喜びを実感する生徒の育成(岐阜教育事務所指定研修校3年目発表)

- 「子供に学ばせたいことや身に付けさせたい力」を明確にした指導計画・評価計画に基づく意図的・計画的な授業展開
- 学力の実態分析からの授業改善
- 評価の視点を焦点化し、「わかる・できる」「変化」「成長」など、自己の振り返りの支援

自己存在感(居場所)が感じられる集団の育成

- ・【主体性】【自己肯定感・自己有用感】【共生】の育成
- ・日々の授業や常時活動、行事等において、全ての生徒が主体的に活躍できる場面を実現する「場づくり」の充実

鍛えやり抜く

仲間と共に協働することの良さを実感させ、願いや目標を達成しようとするたくましさとしなやかさを身に付けた生徒の育成

- 目指す自分や目標に向け努力する姿やその想いを価値付け、真面目に頑張ることの大切さを意識付ける指導(生活ノートや学年・学級通信等を通して)
- 共に歩む中で高まってきた事実を共感的に捉えるとともに、一人一人の行動のすばらしさを謙虚に受け止め、一人一人がいないと困る実感をもたせる指導の連続
- 過去の教職員・生徒の努力を敬い、本校のよき伝統は継承・発展させながら、伝統の意識化を図る。(あいさつ・合唱・清掃における生徒の納得感と必要感を育成・教師も意識して指導しきる)
- 所属集団の生活向上のため汗をかける建設的な考えや意見をもった生徒の育成

思いやる

「当たり前のことが当たり前に行える」「多様な考えを認め合い、自他を大切にできる」生徒の育成

- いじめ防止 令和2年度に改訂された那加中人権宣言の継承及び、ひびきあいの日だけではなく1年を通して生徒の心を育てる
- 生徒会や全校委員会の取り組みを直に学級に反映させ、自分たちの学校を自分たちの力でより良くしようとする校風づくり
- 明確な意思をもったリーダー、共に問題を解決していこうと協調できるフォロワーの育成の強化(誰もがリーダー・フォロワー)
- 生徒同士の絆づくり
お互いの気持ちを理解し、良さを認め、共感し合うことで力を合わせ頑張れる、安心できる人間関係づくり(アセス、SST、コグトレの実施)

令和6年度の合言葉<<生徒の居場所と絆を大切にしたい魅力ある学校づくり>>

- ・子供たちの大切にすることを子供たちを大切にすることで指導し、温かい関係をつくる
- ・子供の願いや意欲を引き出し、子供と子供、願いと活動を「つなぐ」指導をする

<特活指導部会>

願いや目標をもち、活動の意味や意義を理解し、多様性を認め合い、互いに尊重し合い協働することを通して、主体的によりよい生活をつくる子供の育成

- ・自治活動の推進「建設的な意見をもった子供づくり」
- ・学級を拠点とした委員会活動の強化
- ・子供一人一人に応じた生き方・在り方指導、自尊感情を高めるキャリア教育等の推進
- ・「すべての子供を対象とする特別支援教育」に関する理解と支援

<生活指導部会>

自他の安全・安心を大切にできる望ましい習慣を身に付け、学校生活のルールの意味や意義を理解し守り自らの判断で行動できる子供の育成

- ・「時間厳守」「あいさつ・会釈等の励行」「言葉遣い」「身なり」等、基本的生活習慣の全校一致の取組
- ・子供同士の相互評価(チェック)機能が働く学級をつくる。(強固な学級組織力の自治構築)
- ・安全で美しい学習環境作りに向けた保健安全指導
- ・やりきった充実感につなげる清掃指導(きれいな学校の推進:本物の清掃を求め続ける。丁寧な物の取扱い)

<学習指導部会>

自他の考え等を大切にし、学ぶ意味や意義、喜びを味わい、主体的に仲間と関わり合いながら学び、確かな学力を身に付けようとする子供の育成

- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るべく授業改善を推進
- ・発言者に対して、敬意を払う態度を育成し、主体的・対話的で深い学びを深化させる道徳人権指導
- ・教育DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進※デジタル技術を活用した教育改革の推進

家庭・地域

地域行事への参加や学校開放を行うと同時に、地域や家庭の教育力を活用し、地域の方と触れ合う機会をもたせ、「ふるさと“那加中校区”のよさを知り、誇りに思う生徒」を育てる。

- 地域活動に積極的に参加し地域の方との触れ合う活動を通して、地域の一員としての実感をもつ。
- 子供の頑張りや成長を積極的に伝え、問題行動だけでなく普段から家庭との連絡を密にし、信頼関係を構築する。保護者の気持ちを受け止めながら粘り強く頑張る指導を家庭に勧める。
- コミュニティスクールを活用し、明るいあいさつと自らボランティアができる生徒を育てる。